

# 雪国の安全・安心な地域づくりを考える 活動報告会

(R6. 2. 27 北海道標津町)

北海道標津町役場住民生活課 危機管理室長 和田直人

## 標津町の紹介



面積≒624.5km<sup>2</sup>(東京23区の面積とほぼ同じ)

人口≒4,900人、牛≒20,000頭 漁業と酪農が基幹産業

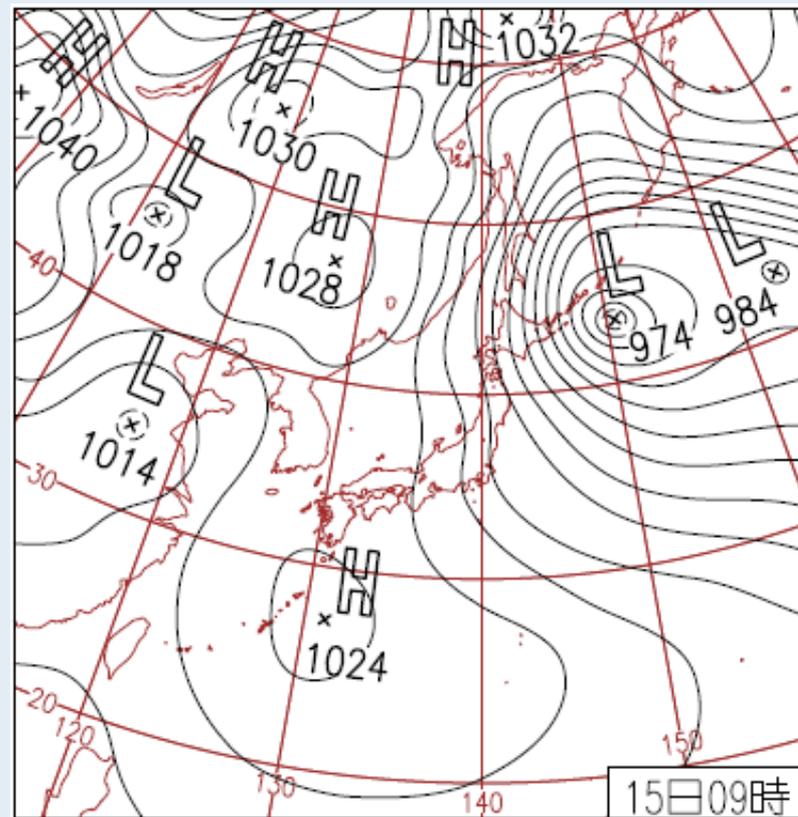
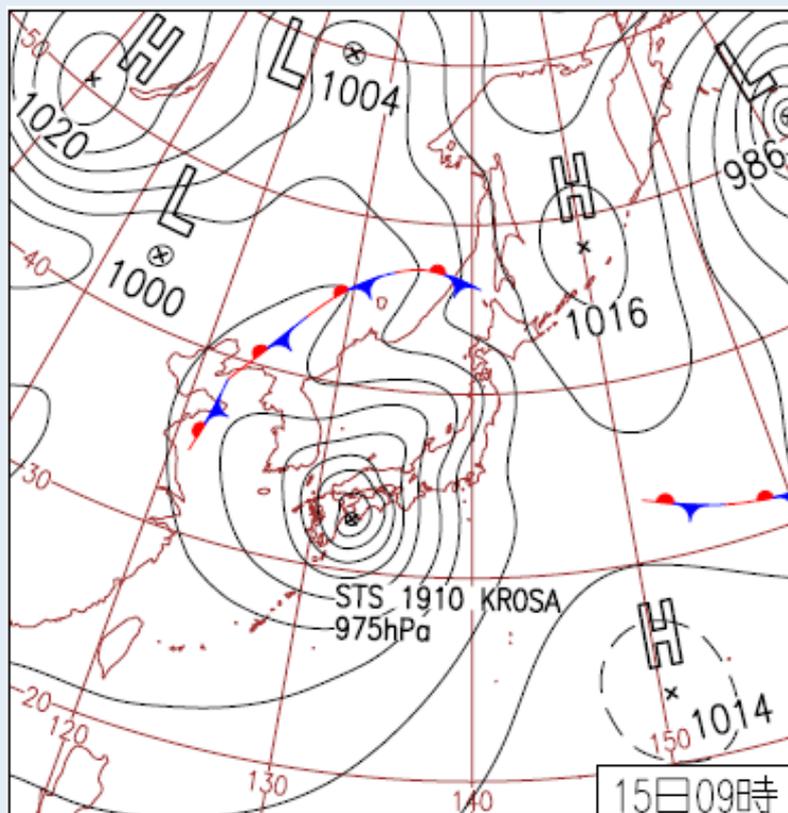
克雪方針策定を目指した経緯

今後の予定

# 克雪方針策定を目指した経緯

今後の予定

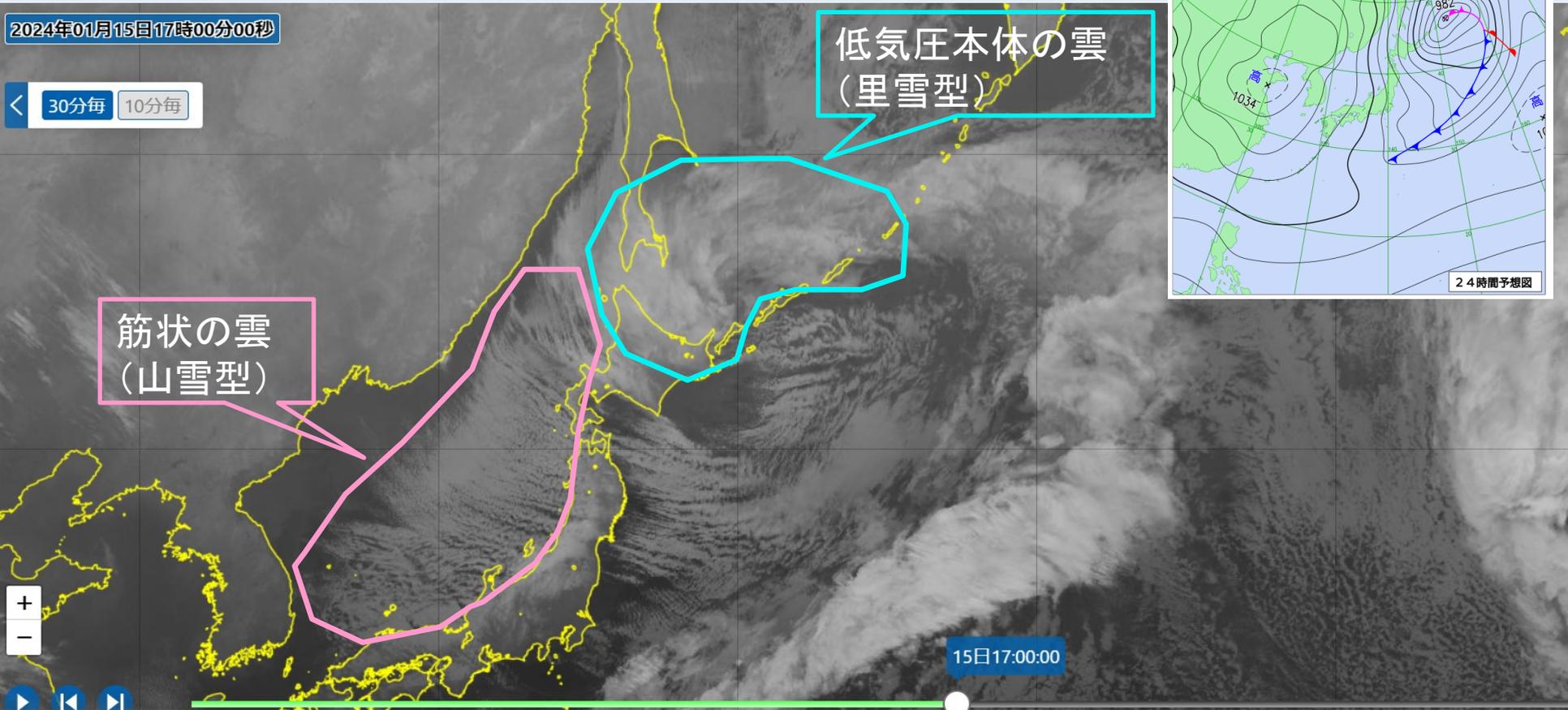
# 克雪方針を目指した経緯



気象庁天気図(左:2019.8.15 右:2015.2.15)

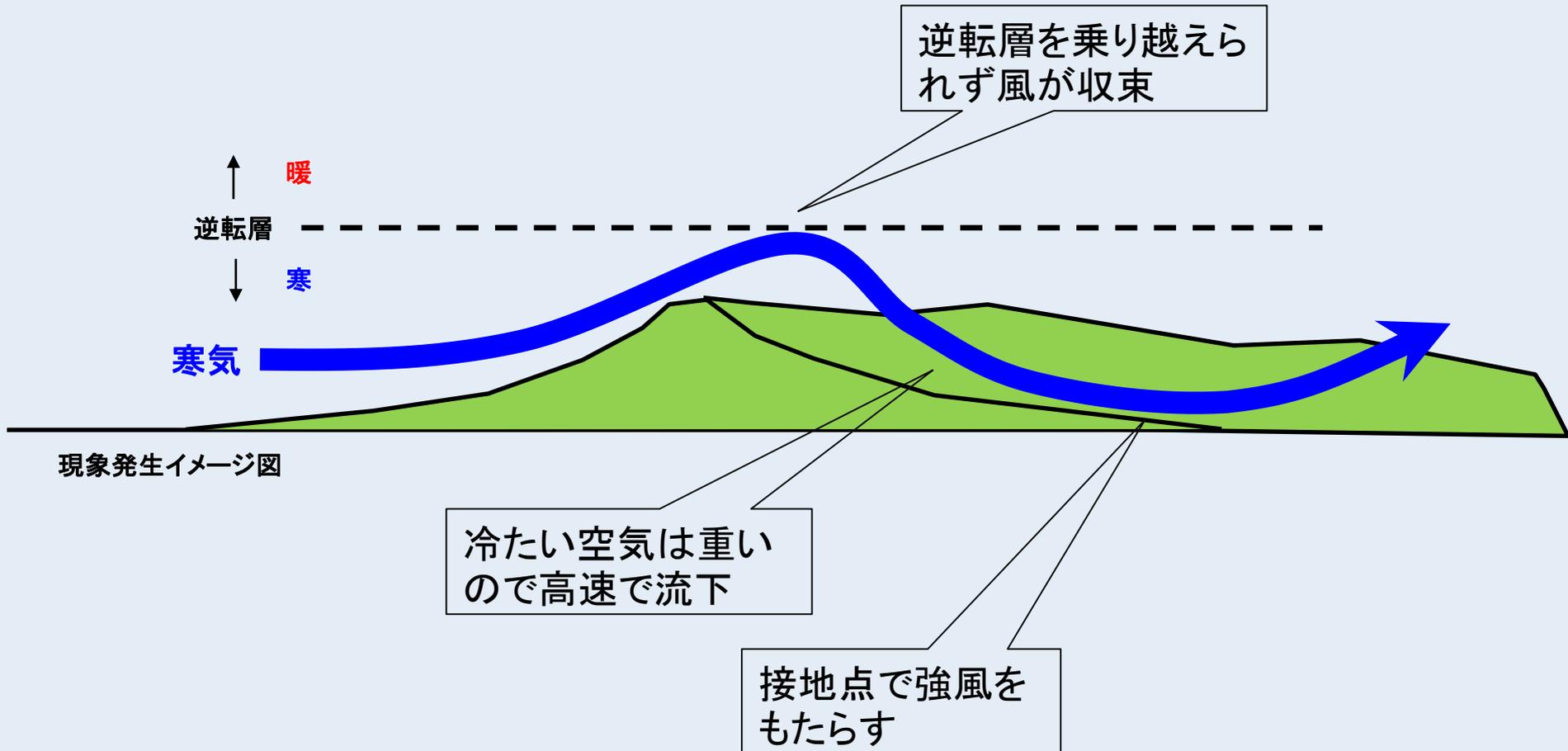
千島近海で台風並みに発達する低気圧が接近・停滞  
⇒日本海側よりも太平洋側オホーツク海側影響大  
⇒局地風の影響も重なり本町周辺で盛大に吹雪く！

# 克雪方針を目指した経緯



山雪型＝長時間の降雪で積雪荷重による被害  
里雪型＝比較的短時間の暴風雪による被害

## 知床連山からの山おろしの風が災い



# 克雪方針を目指した経緯

## 視程障害と吹き溜まり



防災科研 根本主任研究員の資料より抜粋

**恐ろしくて前に進めない！**

# 克雪方針を目指した経緯

## 吹き溜まりの問題

屋根雪の問題



民家入り口周辺を完全に閉鎖



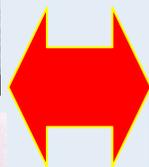
家屋、道路周辺の吹きだまり(除雪後)



民家入り口周辺を完全に閉鎖



路肩、歩道の吹きだまり



北陸や東北などにおける屋根雪と同レベルの深刻な課題

(上空からの降雪が無くても発生する)

# 克雪方針を目指した経緯



H27.2.14の暴風雪で生じた吹き溜まり  
(町道上)

本町ではバスが完全に埋まるほどの吹き溜まりが発生する  
吹き溜まりでスタック ⇒ 命の危険性に直結

# 克雪方針を目指した経緯

## H26年度に実際に発生した事例

およそ3日間に及ぶ暴風雪が発生



暴風雪の最盛期に、透析のため町外の病院に通院したいが吹雪が酷くて家からも出られない旨の通報(午前中)



“決死隊”を編成し民地除雪へ出動



除雪しながら数時間かかってやっと到着(普段は20分)



町道上は“決死隊”が先導、通行止めだった道道・国道は管理者と調整し、除雪車先導で夜になってやっと病院に到着

## 露見した課題

- 通報者はもちろんのこと、オペレーターに重大な危険性
- “決死隊”を現場へ向かわせる判断の難しさ
- 道道・国道の管理者との調整に多大な人工  
⇒ 他に重大事案が発生したとき手薄になる危険性

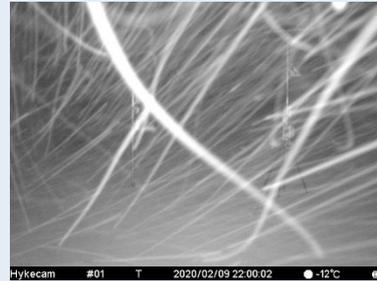
# 克雪方針を目指した経緯

課題解決のために

行政（保健福祉部署を含む）

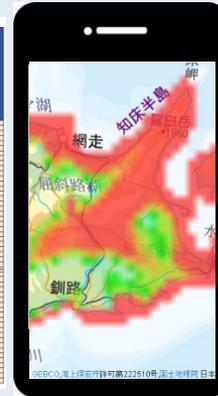
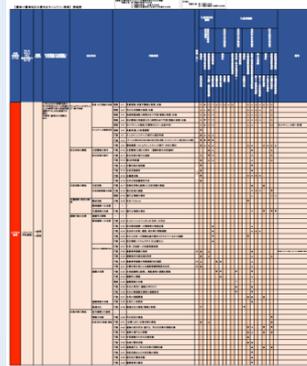
住民

暴風雪のどの段階にあるのかをシステムで判断



暴風雪の実況や予測から早退出勤の見合わせ、泊りの準備

いつ誰が何をするのかを記したタイムラインに沿って行動



行政からのタイムラインに沿った指示に従って行動

被害を限りなくゼロにできる！

※除雪も安全な時にできる

克雪方針策定を目指した経緯

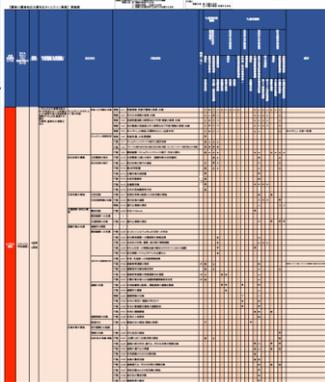
今後の予定

# 今後の予定

## 3本柱を基本に進めるのが有力な案

### タイムライン

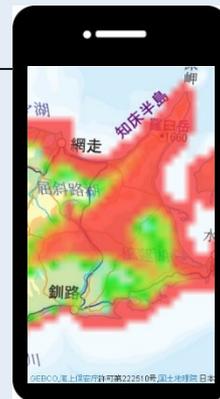
- ・住民や行政、除雪業者等へのヒアリング
- ・行動項目の抽出
- ・タイムラインとして取りまとめ、関係機関と共有



項目	開始	終了	担当者
ヒアリング	2020/01/10	2020/01/20	田中
行動項目抽出	2020/01/25	2020/02/05	田中
タイムライン作成	2020/02/10	2020/02/20	田中
関係機関共有	2020/02/25	2020/03/05	田中

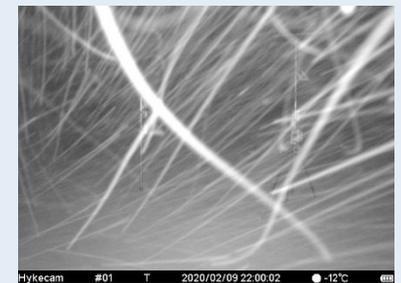
### 吹雪予測システム

- ・防災科研雪氷防災研究センターと連携して開発
- ・関係者内と一般で共有できる情報の範囲が違っているので最低2種類のサイト構築



### 監視カメラ

- ・画像による実況把握と吹雪量や視程観測用に複数台設置
- ・吹雪予測システム閲覧サイト内で公開



以上、ご清聴ありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。